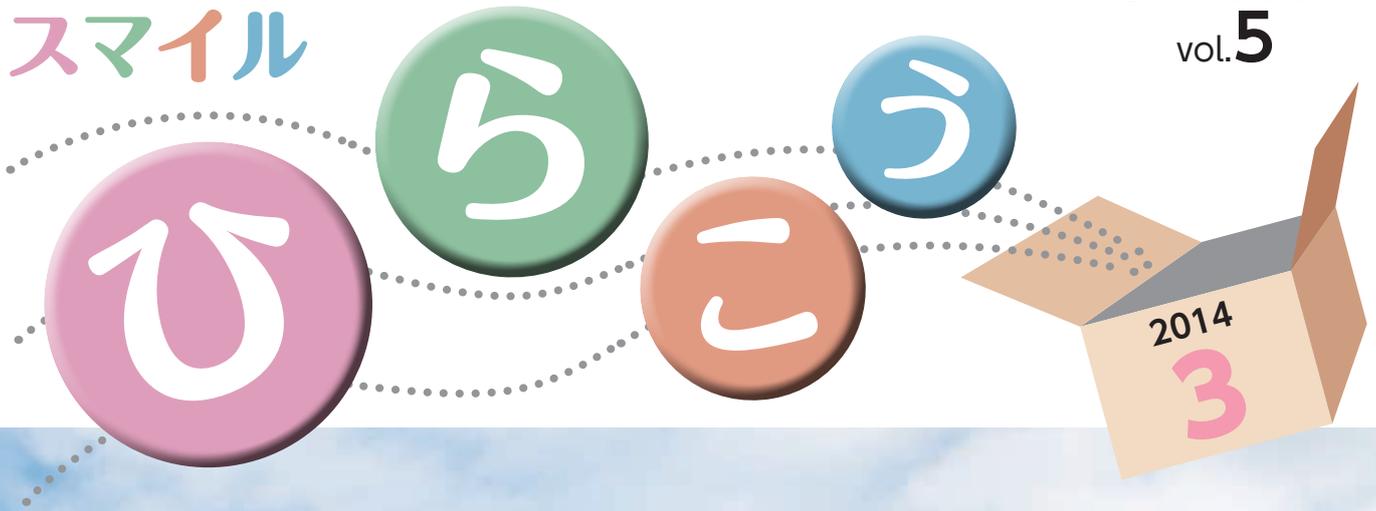


スマイル



特集

## 患者さんの立場に立って最善の医療を提供できるように心がけています

エキスパートナース⑤ / CEのつづやき⑤ / Information / 連携医療機関紹介 vol.5 / 院長のひとり言⑤ / 「旬」なお話 vol.5

患者さんの立場に立って最善の医療を提供できるように心がけています

枚方公済病院歯科口腔外科は、現在常勤歯科医師 2 名、歯科衛生士 1 名、歯科助手 1 名のスタッフで診療を行っております。

■診療体制

診療日：月曜日～金曜日

初診受付時間（当日受診）：8：30～11：00

手術日（全麻）：水曜日 午前

当院歯科口腔外科では、近隣の医療機関との連携を進める点から、お近くのかかりつけの先生からのご紹介を広く受け付けています。

種々の合併症を有する方、全身疾患に対する薬を内服中の方などで、かかりつけの先生からのご紹介をいただいた患者さまの一般的な歯科治療をはじめ、当院に入院中の患者さまの歯科治療や口腔ケア、歯科インプラント治療と唇顎口蓋裂における軟組織手術以外の埋伏歯（智歯を含む）などの抜歯、顎顔面骨の骨折、顎関節症、炎症性疾患、唾液腺疾患、口腔乾燥症、舌痛症、顎変形症の相談など口腔外科疾患の診療を行っております。

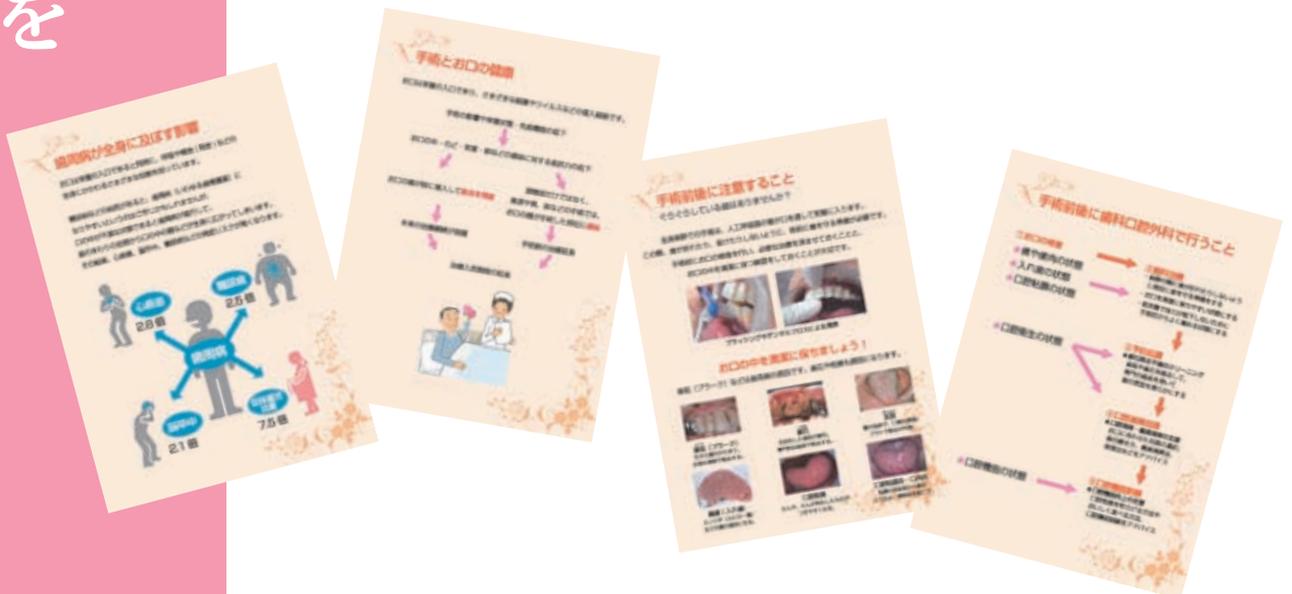
また近年、周術期口腔機能管理について多くの病院歯科・歯科医院が取り組みを開始されておりますが、当院でも取り組みを開始し始めております。

今後、周術期口腔機能管理をすすめるにあたって、院内での多種職協働・連携のみならず、入院前および退院後の口腔管理を途切れることなく継続させるためにも、病病・病診連携がますます重要となって参ります。

私たちスタッフは、この病院と地域のニーズに合った医療を提供できるように、口腔外科診療と口腔衛生管理体制の拡充をはかり、地域の先生方の信頼を獲得することで地域連携を強化していきたいと考えております。今後もさらなるご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



歯科口腔外科医長  
塚本 容子



# 手術前後のお口の健康管理

～お口のトラブルを予防して治療を円滑に～

これから手術を受けられる方は、  
手術前からのお口の健康（清潔で、よく噛めること）が大切です。

入院治療中に、お口のトラブルによって、おいしく食事ができなくなったり、  
楽しく会話ができなくなったりするだけでなく、  
熱が出たり、肺炎などにより入院期間が延びたりすることや  
入院の主目的である治療自体に支障を来すこともあります。

そこで、手術前からお口のトラブルを予防・改善し、  
治療を円滑にするためのお口の健康管理に関するアドバイスを  
1冊のパンフレットにまとめました。  
積極的にご利用ください。



枚方公済病院 歯科口腔外科

# エキスパートス

⑤

病院では、様々な専門職種が連携し合い、協力し合って医療を提供しています。そうした医療チームの中で一番の大所帯は、間違いなく看護部です。

このコーナーでは、そんな看護師の活動やニュースを主に取り扱っていきます。

当院では『看護の専門家として優れた看護職を育成する』を看護部の理念とし、『安全で安心できる質の高い看護の提供を維持し、向上するために、専門職業人としての知識・技術・態度、研究的能力を育成する』ことを教育理念としています。当院のキャリアラダーはレベルを4段階に設定し、看護師として現場で求められる技術や技能を身につけていきます。教育に基づき、①臨床看護実践の習得段階を示し自己育成のためのツールとする、②段階別研修によるサポートを行い背景が異なる看護師への支援を行う、③スタッフ1人ひとりを生かせるシステム作りにより看護実践能力の向上・リーダー層の強化を行い、職場の活性化・質の高い看護の提供を目指す、ことを目的としています。



当院では、看護師としての専門知識や技術を身に付け、向上していくためにクリニカルラダーを設けています。クリニカルラダーとは、“キャリア開発プラン”や“看護実践能力開発プログラム”などとも呼ばれ、病院ごとに計画されているものです。当院のラダーIレベル（新入職者・卒後1年目の看護師が主に対象となるレベル）では、指導を受けながらマニュアルに沿った安全な看護実践や、組織人・専門職業人としての自覚・責任を果たすことが求められます。当院のラダーIレベル習得を目指す過程では、ケーススタディーの発表が義務付けられています。

今回は2014年2月3日～2014年2月7日に行われた、このケーススタディーの発表風景を少し紹介します。今年の発表者は総勢20名です。ケーススタディーは、一つの症例に向き合うことで、ナースとしての将来像を明確にする意味もあり、組織人・専門職業人としての自覚に繋がるものでもあります。

- 高齢者の離床意欲を支える関わり
- 慢性心不全患者の生活指導を通して
- 繰り返し誤嚥性肺炎を起こす対象へのアプローチ
- ミトンを外して入院生活を送るための取り組み
- クリティカルでの褥瘡ケアと治療の実践
- ストマケア指導の振り返り

左記は発表された演題の一例ですが、それぞれから特色のあるケーススタディーが寄せられていることがわかります。どのケーススタディーでも、狙いの通り、看護師として一つの症例に関わる中で、自己が深めた学びについて発表されていました。発表者個人が、それぞれに得た学びを今後の看護実践に生かしていくばかりではなく、こうした発表の場を通して他者の学びに耳を傾けることは、発表を聴いた者にとっても新たな学びになり、自己の初心を思い起こさせられるよい機会なのだと感じました。

看護師 小川 誉世



ケーススタディー発表

## CEの つぶやき ⑤



最近、とても寒くなり風邪が流行しています。そこで活躍するのが体温計です。医療機関だけでなく一般家庭にも普及しており、最近利用された方も多いのではないでしょうか。現在普及しているのは電子体温計と耳式体温計です。

それぞれ特徴があり、使用上の注意点もあります。

まず、電子体温計はサーミスタと呼ばれる温度センサを用いて測定します。脇で体温を測定する場合、体内の温度を示すまでに10分ほど時間がかかります（実測式）。時間を要するため、温度変化から体内温度を予測する機能がついているタイプもあります（予測式）。予測式の場合は数十秒で測定することができますが、あくまでも

## ● 心不全外来の新設

当院では3月より慢性心不全患者を対象に週1回の心不全看護外来を開設します。慢性心不全患者は、高齢化や多疾患有病者など、身体的・心理的に複雑な背景を持つ人が多く、急性増悪を回避するためには、日常生活の管理は重要です。心不全看護外来では、患者の急性増悪による再入院率の低下や、QOLの向上を目指し、心不全の症状や兆候の早期発見、生活調整や疾患管理の支援を行いたいと思っています。



慢性心不全看護認定看護師

原谷 こずえ

## ● 肝臓病教室の開設

慢性肝炎・肝硬変・肝ガンなどの慢性肝臓病を抱える患者さんを対象に、肝臓病に関する情報を提供するための教室を開催します。

医師・薬剤師・栄養士・看護師からの講話や、患者さん同士のグループワークなどを行います。

第1回開催日時：3月26日午後2時～4時

場所：当院セミナールーム1

テーマ：肝硬変とその合併症に対する治療



## ● DDW2014で研究発表

消化器内科の青木信裕医師がアメリカ消化器病週間DDW2014 <Digestive Disease Week> (2014年5月3日～6日イリノイ州シカゴ) で発表します。内容は大腸内視鏡検査時に使用する医療機器の発明品に関する研究です。また日本では消化器内視鏡の最大学会である第87回日本消化器内視鏡学会総会(5月15日～17日福岡国際会議場)でも発表します。



消化器内科医師

青木 信裕

正式な温度でなく、予測値であることは知っておく必要があります。現在の主流は実測式の機能も備えた実測式＋予測式となっていますので、より正確な温度を測定したい場合は10分測定することによって実測値も得ることができます。

耳式の体温計は赤外線を用いて鼓膜温を測定しています。測定時間が数秒

と短いのが長所です。鼓膜温は体内の深部温に近く、正確な温度が得られると言われていますが、耳に挿入する深さや角度で測定値が変動してしまいます。耳を軽く引っ張り、センサから鼓膜までを一直線にしたり、複数回測定して最大値をとることによって正確な温度を得ることができます。

電子体温計も耳式体温計も正確な体

温を得るためには時間と手間が必要となりますので、求められる精度にあわせて測定方法を変えてみるのもよいかもしれません。

臨床工学技士 木戸 悠人

## 医療法人茂桂会 上田外科

### ☑ 開業のきっかけ

当時(昭和56年)、この辺りに地域の方々向けの身近な外科診療施設がなく、ファミリードクターとしてお役に立つため田口山で開業しました。

### ☑ 毎日の診療に心がけていること

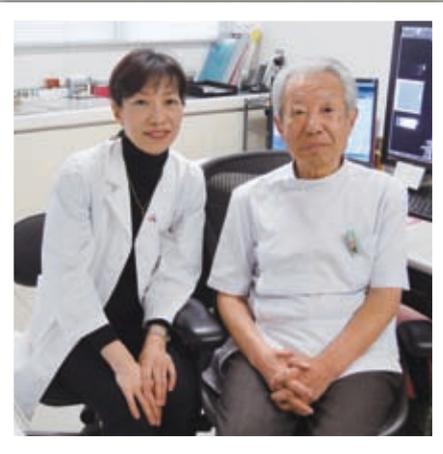
患者さん一人一人についてその訴えをよくうかがい、適確な診断、治療を行うことは当然ですが、患者さんの心が安まり落ち着いて、病と闘う気持ちをもって帰っていただくよう心がけています。それは私たちだけでなく当院のスタッフ全員の信条でもあります。

### ☑ 趣味

旅行です。行き先を決めて、計画を立てて、下調べのところからの夢広がる時間を大いに楽しめます。

### ☑ 枚方公済病院について

診療、検査とも素早い対応をしていただいております。受診の結果も翌日には届くので、すぐ患者さんとその事について話し合うことができます。またアドバイスをきちんといただけることも私たちの診療の大きな支えです。



上田外科 院長 上田 茂夫先生

副院長 上田 さつき先生

所在地: 〒573-0001

大阪府枚方市田口山 2-31-15

☎ 072-856-3388

診療科目: 外科、乳腺外科、消化器外科、整形外科

## 連携医療機関紹介



このコーナーでは連携医の先生方をご紹介します。

## 山本整形外科

### ☑ 開業のきっかけ

枚方病院の前身の一つである新香里病院に一人医長として約7年間お世話になりましたが、京阪奈病院との合併の話があり、これを機にそろそろ自分の時間も作りながら、マイペースに診療がしたいと思い(これは間違っていました)、2003年10月に河内磐船の駅前で開業しました。

### ☑ 毎日の診療に心がけていること

正しい診断ができるよう丁寧な診察を心がけているつもりですが、その分患者さんの待ち時間が長くなるのが悩みの種です。しかし軽い腰痛で来院された大動脈解離の方や、臀部の打撲を主訴に来院された腹膜炎の方など整形外科的な知識とレントゲンだけでは診断に苦慮することも多く、日々悩みながら診療を行っています。

### ☑ 趣味

休日に登山(と言っても低山、ハイクがほとんどですが)、森林浴や自然散策を楽しんでいます。

### ☑ 枚方公済病院について

いつもご無理をお願いしていますが、どの診療科の先生方も快く診療を引き受けてくださり大変助かっています。また退職されましたが田中前院長を始め新香里病院時代からの顔見知りの先生方やスタッフがたくさんおられ、大変心強く思います。紹介した患者さんからも診療とスタッフの方の親切な対応に大変喜んでいただいております。これからも多々ご面倒をかけると思いますがよろしくご厚意申し上げます。



山本整形外科 院長 山本 康先生

所在地: 〒576-0036

大阪府交野市森北 1-37-6

☎ 072-894-0102

診療科目: 整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科



枚方公済病院長  
野原 隆司

私が枚方公済病院に赴任してから予防医学と多職種の包括医療の重要性を唱えている。特に予防は大切であり、日常動ける健康寿命の延長は地域にとって重要な課題である。

とにかく歩くことを推奨している。歩くことの良さは以前から多くのエビデンスが出ている。たとえば同じ背景を持つ会社の古い比較試験がある。通信会社の電話交換手と郵便配達人、あるいはバス会社（2階建てバス）の運転手と車掌（今は見かけない）の比較。運転手や交換手は歩かない、しかし郵便配達人や車掌はよく歩く。狭心症はよく動く方に発作頻度は多いが、予後は逆転して歩く職種が良い結果であった。200 - 300 キロカロリーを消費する中等度の運動は突然死も少ないという多数例のデータもある。面白いのは心筋梗塞の後の

観察で、犬を飼う人は飼わない患者より予後が良かった。ご承知のように犬は散歩させなければならぬので歩く。これが良い。おまけに猫では差は出ないことを確認している。猫は人の手を借りない。だから私は患者に犬を飼うかカメラを持ちなさいと勧めている。写真撮影も歩かないと良いものは撮れない。それでも歩くのを渋る人には、立ったまま行うつま先立ち運動、それでもだめなら大負けに負けて、“貧乏ゆすり”。貧乏はよくないので“健康ゆすり”とする。3分も揺ると温度は1度上がる。冷え症にも良い。1時間で40キロカロリーも消費する。血栓防止にも良い。大阪人は日本で一番早く歩くといわれる。歩く速さも重要だが、とにかく歩く習慣をつけることである。

## 旬なお話

vol.5

管理栄養士  
原 智恵

ここでは、食や栄養に関わる旬なお話をしたいと思います。今回は・・・

### 三つ葉

についてです。



三つ葉の旬は3～4月です。

最近ではハウス栽培のものが年中出回っていますが、天然物は味も香りもよく、シャキシャキとした食感が楽しめ、まさに春の食材です。

栽培して食用としているのは日本と中国だけといわれ、香りを楽しむ香味野菜として人気があります。3枚の小葉からなるので三つ葉と名付けられたそうです。緑の葉の部分が多いほど、栄養素や薬効に優れているそうです。

ビタミンCやカロテンが豊富なので肌荒れや風邪、視力低下の予防が期待できるといわれています。香り成分は神経を鎮め、消化を促進し、食欲増進に有効。とくに春先のものはその効果が優れているといわれています。二日酔いにも効果があるようです。

#### ●三つ葉を美味しく食べるポイント●

- \* 加熱しすぎると香りが落ちます。歯ざわりも損なわれるので注意しましょう。
- \* 切り三つ葉は組織が軟弱なので、生食や汁に散らしたりするのがよいでしょう。
- \* 根三つ葉はアクが強いので、さっとゆでると美味しく頂くことができます。

## 鶏ささみと三つ葉わさび和え

《材料（2人分）》

- 鶏ささみ …………… 2本
- 塩 …………… 小さじ1/5
- 酒 …………… 小さじ2
- 三つ葉 …………… 1束
- (A) 薄口しょうゆ …… 小さじ1
- わさび …………… 小さじ1/2
- オリーブ油 …………… 小さじ1

《作り方》

- ① ささみは筋をとり、中心部に切れ目を入れ観音開きにします。
- ② 三つ葉はさっとゆでざく切りにします。
- ③ 耐熱皿に①のささみを入れて塩、酒をふり、ふんわりとラップをしてレンジ600Wで2分加熱し、ラップをそのまま冷まし、食べやすく割きます。
- ④ 材料のAを合わせて②の三つ葉と、③のささみを蒸し汁ごと加え混ぜ合わせたら完成です。

【エネルギー：74kcal/塩分1.2g】

## 編集後記

立春が過ぎましたが、鶯が鳴き梅の花香る季節はまだ遠いようです。バレンタインデーに降った大雪は積雪に慣れていない私たちに大きな影響を与えました。当院でも最大で5cmは積もっていたでしょうか。朝の出勤時には辛うじて登れた病院正門に続く坂道では登れない車が続き、病院とJR長尾駅間のシャトル便は運休、京阪バスも通過していく有り様でした。

降りしきる雪の中の病院を見ると4階部分に養生シートが掛けられていました。ここには電光の病院看板が設置されることになっています。デコレーションケーキの箱のようであった当院も少しずつ装飾されていきます。化粧映えした姿をご覧いただけるようになりました。

また4月にグランドオープンする病棟の内装が仕上げに入っています。当院自体が高台にあるからですが、ここはとても見晴しが良いのです。天気の良い日には大阪市内まで遠く見渡せるのではないのでしょうか。療養環境としては最適です。暖かい春の日差しが待ち遠しいように、みなさまにご紹介できる日が待ち遠しいです。

企画課 徳田 裕美子



国家公務員共済組合連合会  
**枚方公済病院**

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号  
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093  
<http://kkh-hirakoh.org/>